

団体名：世田谷・みっと

活動地域：世田谷区

助成額：79,979 円

Facebook：<https://www.facebook.com/setamitt/>

【当初の目的に対しての結果】

「せたがや子ども食堂・みっと」は2023年5月から対面で食事をする子ども食堂を再開しました。また、コロナ禍で対面での子ども食堂の開催を中止していた時にスタートした『MFP みっと・フードパッケージ』も多くの利用者の強い要望に応え、毎月一回の提供（在世田谷の子どものいる家庭30世帯）を継続しました。コロナによって生じた生活困窮、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化はエネルギーや原材料価格の高騰につながり、記録的な物価高による生活への影響が続いています。『MFP みっと・フードパッケージ』のお米も利用者の要望（調理時間の短縮、水道代の節約）に応え、無洗米に切り替えました。2023年12月、2024年2月には『未来につなぐ募金』の助成を利用し、おもち、サラダ油、醤油、塩を提供し、とても感謝されました。過去には果物などを提供していましたが、毎日の食生活に必須な食材が求められることは、生活に困難を抱える家庭の切実な現在の状況を語っているといます。2023年度にはのべ340世帯に『MFP みっと・フードパッケージ』を提供しました。

【組合員へのメッセージ】

コロナ禍を経験した私たちは、人と会う、人と話す、一緒に食事をするということがどれだけ大切でかけがえのないことであるかを学びました。2023年5月にせたがや子ども食堂・みっとを再開するにあたり、これまでのFB、ブログ等のSNSでの発信に加え、区の掲示板にチラシを掲載するというアナログな告知方法も取り入れたところ、チラシを見て参加するお母さんと子ども、近隣エリアに住む大人（世代に関わりなく、老若男女）が多くいることが判りました。コロナ禍で格差がより拡大し、弱者にしわ寄せがいくなか、生きづらさを感じる人、孤独感をもつ人が増えていることを肌で感じます。「せたがや子ども食堂・みっと」は、子どものみならず、多世代の地域の人々に開かれた、安心で安全な場所、他者を思いやる人々が集い、「つながる」場所、『みっと-mitt』みんな(m)いっしょに(i)楽しく(t)つながる(t)をこれからも目指していきたいと考えます。東都生協組合員のみなさまのご理解とご支援を今後とも、よろしく願いいたします。「せたがや子ども食堂・みっと」は世田谷線松原駅から徒歩30秒の「シーマ・シーマ」で毎月一回、第二木曜日（17:00-20:00）に開催しています。お近くにいらしたときはぜひお立ち寄りください。

